

■ 説明会の記録

6. 十和小学区

日時：平成 27 年 12 月 13 日（日）18：00～19：30

出席：42名（子どもを除く）



（説明会の様子）

■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(十和小学区)

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	何故、統合後の学校位置が谷原小なのか。その場合の通学手段はどうなるのか。	子ども達にとって適切な教育環境を考えた上での結果。施設規模や小・中連携のしやすさ等を勘案して判断した。また、通学手段については、遠方になってしまう方は、基本的にスクールバス等による通学支援を考えている。
2	統合後の学校名はこのままとなるのか。	統合検討委員会なり統合準備委員会で決めることとなる。
3	統合はどこから進めていくのか。	基本計画では、平成 35 年度を目標としている。複式が発生している学校や発生が予想される学校を優先して行っていきたいと考えている。いずれにせよ、保護者や地域の皆さんに合意を得られたところから進めていきたいと思う。
4	複式学級の学校から統合を進めることでよいか。	複式学級の学校は、課題も多いので早急に進めていきたいという考えである。しかし、これも来年度以降の話し合いの熟度によって進み具合が変わってくることも想定される。
5	中学校について、どのような話し合いがなされているか。	みらい平地区の中学校予定地があることを期待して来る方もおり、まちづくりの観点も踏まえ、引き続き検討していく。選択制について早急に学区制にしたい。
6	（仮称）富士見ヶ丘小の学区は決まったのか。コスト、メリット的には新規学校をつくるより既存学校を活用する方がいいのではないのか。	既存の学校へと通う児童を振り分ける場合、ピーク時の児童数を勘案すると、みらい平地区内を細分化して割振ることになる。こういう状況は、みらい平地区にお住まいの方にとっては好ましくないということで、みらい平地区から既存の学校へ通学するという選択は外したという経緯がある。
	福岡地区、十和地区について（仮称）富士見ヶ丘小学校の方が近い場合、通学は可能か。	これまでの地域の歴史やつながりもあり、それを細分化するということは考えにくい部分もあることから、今回の枠組みについては、現在の学区の中で考えたものである。 しかし、指定された学校よりも近く、かつ安全に通うことができる場合、指定校変更という手続きにより通学する制度があり、この制度は今後も踏襲されていくものと考えている。
2. スクールバスについて		
7	3km 未満でもバスが通るな	スクールバスの運行については、具体的に変われば

	ら乗せていただきたい。そのような検討の機会はあるか。	様々な意見や要望が出てくる。 来年度以降、話し合いの中で決めていきたいと考えている。
8	スクールバス等の費用負担はどうか検討しているか。	スクールバスの運行については、その運行方法や負担方法は決まっていない。 来年度以降、話し合いの中で決めていきたいと考えている。